質 問 回 答 書(1002-3)

質問対象の工事番号	病建工 第1号
質問対象の工事名	市立秋田総合病院新病院建設工事

市立秋田総合病院新病院建設室

質問回答月日:令和元年10月10日

S-245	No.	質 問	回 答
大梁斯面リスト 12-13-PHI階 G2A について、中央・他端 のスターラップ形状が下記の様に記載されておりますが、表 の3-D13を正と考えて宜しいでしょうか。 ■断面:4-D13	1	大梁断面リスト 3・4・5階 B9A について、中央・他端のスターラップ形状が下記の様に記載されておりますが、断面の7-S13を正と考えて宜しいでしょうか。 ■断面:7-S13	表を正とします。
片持スラブリスト CS28 について、短辺方向の鉄筋径及び 上下共D13@100としてください 上下共D13@100としてください 上下共D13@100としてください 上下共D13@100としてください 上下共D13@100としてください 上下共D13@100としてください 上下共D13@100としてください まる記載となっております。 ■S-260 : 記載無し ■Ab-03: 記載無し ■Ab-03: 記載無し 世接を下記の様に考えて 宜しいでしょうか。 ■厚き : 200 ■配筋: 短辺・長辺共D10@150ダブル ■Ab-029. S-204 長辺共D10@150ダブル S-204 S25の記載 Ab-029. S-204 S250の記載 Ab-029. S-204 S250の記述 Ab-029. S-204 S250の記述 Ab-029. S-204 S250の記述 Ab-029. S-204 S250の記述 Ab-029. S-	2	大梁断面リスト 12・13・PH1階 G2A について、中央・他端のスターラップ形状が下記の様に記載されておりますが、表の3-D13を正と考えて宜しいでしょうか。 ■断面:4-D13 ■表:3-D13	よろしいです。
教急前室(教急車庫)の土間コンクリートについて、下記の様な記載となっております。 ■S-260 : 記載無し Ab-031:コンクリート舗装と記載 ■Ab-03:記載無し 仕様を下記の様に考えて 宜しいでしょうか。 ■厚さ:200 ■配筋:短辺・長辺共D10@150ダブル Ab-029、S-204 EVビットについて、下記の様な記載となっております。 ■Ab-029 スラブ・接衝材(スラブ下部斜線部) ■S-204 S25の記載 「スラブの構成が、S25+緩衝材であると考えて宜しいでしょうか。 ② Ab-029とS-204でスラブ厚が相違しておりますが、S-204を正と考えて宜しいでしょうか。 ② Ab-029とS-204でスラブ厚が相違しておりますが、S-204を正と考えて宜しいでしょうか。 ③ ①、②の質疑を正とした場合、緩衝材の仕様及び厚さをご指示下さい。 S-406 基礎梁リストについて、FB15のBX3端の上端筋本数が断面図と表で下記の様になっておりますが、表を正と考えて宜しいでしょうか。 ■断面:10-D29 ■表:11-D29 S-204、S-252 7 の関連化は図の小型では5MのDPC取合しご詳細本細指示下さい。 BPL-16x350x500 GPL、ボルトは構造図による	3	片持スラブリスト CS28 について、短辺方向の鉄筋径及び ピッチの記載が見当たりません。	上下共D13@100としてください
EVピットについて、下記の様な記載となっております。 ■Ab-029 スラブ・緩衝材(スラブ・下部斜線部) ■S-204 S25の記載 5 ① スラブの構成が、S25+緩衝材であると考えて宜しいでしょうか。 ② Ab-029とS-204でスラブ厚が相違しておりますが、S-204を正と考えて宜しいでしょうか。 ③ ①、②の質疑を正とした場合、緩衝材の仕様及び厚さをご指示下さい。 S-406 基礎梁リストについて、FB15のBX3端の上端筋本数が断面図と表で下記の様になっておりますが、表を正と考えて宜しいでしょうか。 ■断面:10-D29 ■表 :11-D29 8-204、S-252 ②階次化図の小次sb45MのBC取合い詳細を御ちま下さい。 BPL-16x350x500 GPL、ボルトは構造図による	4	救急前室(救急車庫)の土間コンクリートについて、下記の様な記載となっております。 ■S-260 :記載無し ■Ab-031:コンクリート舗装と記載 ■Ab-003:記載無し 仕様を下記の様に考えて 宜しいでしょうか。 ■厚さ:200	厚さ200mm、D13@150ダブルとしてください。
基礎梁リストについて、FB15のBX3端の上端筋本数が断面 図と表で下記の様になっておりますが、表を正と考えて宜し いでしょうか。 ■断面:10-D29 ■表:11-D29 8-204、S-252 の陸沙伏図の小沙ch45MのPC取会し詳細を創指示下さい BPL-16x350x500 GPL、ボルトは構造図による	5	EVピットについて、下記の様な記載となっております。 ■Ab-029 スラブ+緩衝材(スラブ下部斜線部) ■S-204 S25の記載 ① スラブの構成が、S25+緩衝材であると考えて宜しいでしょうか。 ② Ab-029とS-204でスラブ厚が相違しておりますが、S-204を正と考えて宜しいでしょうか。 ③ ①、②の質疑を正とした場合、緩衝材の仕様及び厚さを	
7 S-204、S-252 GPL、ボルトは構造図による	6	基礎梁リストについて、FB15のBX3端の上端筋本数が断面 図と表で下記の様になっておりますが、表を正と考えて宜し いでしょうか。 ■断面:10-D29	よろしいです。
	7		GPL、ボルトは構造図による
S-204、S-252 8 2FL+3000梁伏図の小梁sb20MのRC取合い詳細を御指示下 GPL、ボルトは構造図による A.BOLT 2-M20 ダブルナットフック付き	8	2FL+3000梁伏図の小梁sb20MのRC取合い詳細を御指示下	GPL、ボルトは構造図による

No.	質問	回答
9	S-204、S-252 2FL+3000梁伏図の小梁sb20WのRC取合い詳細を御指示下 さい。	BPL-12x250x250 GPL、ボルトは構造図による A.BOLT 2-M20 ダブルナットフック付き
10	S-214、S-252 AY1通り軸組図の小梁sb15WのRC取合い詳細を御指示下さい。	BPL-12×200×200 GPL、ボルトは構造図による A.BOLT 2-M16 ダブルナットフック付き
11	S-252 鉄骨部材リストの間柱SP15WのBPL-16のサイズを御指示下 さい。	BPL-16x200x200 GPL、ボルトは構造図による A.BOLT 2-M20 ダブルナットフック付き
12	S-252 鉄骨部材リストの間柱SP17WのBPL-16のサイズを御指示下 さい。	BPL-16x225x225 GPL、ボルトは構造図による A.BOLT 2-M20 ダブルナットフック付き
13	S-252 鉄骨部材リストの間柱SP25WのBPL-16のサイズを御指示下 さい。	BPL-16x300x300 GPL、ボルトは構造図による A.BOLT 2-M20 ダブルナットフック付き
14	S-252 フロアレベルのRCあご詳細のBPL、アンカーボルト、ベース モルタルの詳細を御指示下さい。	BPL-12×250×200 GPL-12、HTB3-M16 A.BOLT 4-M16 ダブルナットフック付き
15	Ab-022、金抜き設計書 矩計図より層間塞ぎはRW充填と記載されておりますが、仕 様は金抜き設計書-建-P.100に倣いt80 24kg/m3 受け金物 はスチールPL-t1.6で見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
16	Ag-001、Ab-029 矩計図より壁部に防火区画目地と記載されておりますが、免 震ピット・擁壁を除き、免震層のRC壁に1時間耐火 めじだす けを見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 めじたすけ(日本インシュレーション)同等を見込 んでください。
17	Ak-001、Ab-023、031、Ac-001~005、S-260~264、S-402 下記の鉄骨部材に耐火被覆が不要と考えて宜しいでしょうか。 ・EVシャフト 中間ビーム ・キャノビー屋根鉄骨梁(医療棟) ・目隠し鉄骨(医療棟) ・母屋補強材(救急車庫) ・ブレース(救急車庫) ・庇鉄骨(支援棟) ・階段受け鉄骨	下記の通りとします。 ・EVシャフト 中間ビーム⇒非常用EVは必要、他不要 ・キャノビー屋根鉄骨梁(医療棟)⇒必要 ・目隠し鉄骨(医療棟)⇒不要 ・母屋補強材(救急車庫)⇒必要 ・ブレース(救急車庫)⇒必要 ・庇鉄骨(支援棟)⇒不要 ・階段受け鉄骨⇒不要
18	技術提案書式の(様式3-1)~(様式4-3)までのそれぞれに指定の通り会社名等記載し記名・押印することと考えて宜しいでしょうか。	別紙(技術資料回答)参照
19	共同企業体名称が長い為、会社名記載欄を長く枠取り加工 したり、大きくしたり、文字を10P以下にして作成しても宜しい でしょうか。	別紙(技術資料回答)参照
20	具体的な提案内容を5項目記載する上で、各提案の枠取りを様式の通り均等割り枠内に収めるべきか、又は枠取りを提案内容により枠取り行数に変化を持たせても宜しいでしょうか。	回答済み(10/4HP掲載)

No.	質問	回 答
21	様式の書式に準じて記載を簡潔に納めなければならないのか、場合によって大きな枠取りにする加工を加えても宜しいでしょうか。	回答済み(10/4HP掲載)
22	(様式2-2) 1-(2)企業の建築一式工事、電気工事又は管工事における施工実績に係る申請書、(様式2-3) 1-(3)配置予定技術者の建築一式工事、電気工事又は管工事の施工実績に係る申請書に関して 各書式下段の注意書きに、「・・・および工事完了を証する書類の写しを提出すること。」とありますが、建物受領書の写し若しくは工事完了引渡証明書の写し又は工事完了検査済証の写しで宜しいでしょうか。	別紙(技術資料回答)参照
23	Aa-004 特記仕様書1.4.4より見本施工とありますが、4床室、1床室 (標準型)、SSカウンター・HWCにモデルルーム、本建物内・ 仮設プレハブ内とありますが、モデルルームはどちらに施工 するか御指示下さい。	本建物内・仮設プレハブ内のどちらかとし、工事 監理者および工事監督員とご協議ください。な お、施工前に一定期間モデルルームとして設置 できるようにしてください。
24	Aa-005 Aa-016 工事区分表01では建築工事(トイレプース、化粧鏡、ミニキッチン、サイン)となっておりますが、特記仕様書07では工事範囲外となっています。今回工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
25	Aa-013 Af-038 PW(樹脂サッシ)について 断熱性能・耐風圧性能とも同等である、国産品のビル用高断 熱ハイプリッド窓を同等品と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
26	Aa-011 Aj-006 Aj-012 屋上保護断熱アスファルト防水の断熱材に於いて、特記仕様書-9.2.2では押出法ポリスチレンフィルム3種bAとありますが、断熱範囲図では硬質ウレタンフォームとなっております。 特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
27	Aa-017 Ab-21~34 屋根(風除室1、救急車庫)及び庇(医療棟西側2F)に角波ガルバリウム鋼板と記載がありますが納まり等詳細が不明です。参考メーカー、詳細をご指示下さい。	Ag-016 D16-03(アルミスパンドレル)の納まりを 参照ください。
28	Aa-017 Ab-21~34 外部仕上表に外壁 角波サイディング、アルミスパンドレル(ヨト・ホ・ルトレスウォール60 Hyper 淀川製鋼所同等)と記載がありますが、 ECP面、RC面共に納まり等詳細が不明です。詳細をご指示下さい。	Ag-016 D16-03(アルミスパンドレル)の納まりを 参照ください。
29	Aa-012、Aa-017 屋内縦樋の仕様が特記仕様書-13.5.2と外部仕上表で下記 の様になっております。外部仕上表を正と考えて宜しいで しょうか。 ・特記仕様書:硬質塩化ビニル雨樋(屋内防露付き) ・外部仕上表:塩ビライニング鋼管(防露巻き) (正)	よろしいです。
30	Aa-017 共通事項 No17より常時外気に接する金属材料の裏面に結 露防止策を施すと記載がありますが、仕様を御指示下さい。	適宜グラウト吹き付け等(t5程度)を行って下さ い。
31	金抜き設計書 金抜き設計書-建-P.37、P.330に樹脂化粧打放合板型枠と ありますが、図示されておらず、詳細が不明です。打放合板 型枠A種と読み替えても宜しいでしょうか。	Aa-017図 共通事項26にあるとおり、RC化粧打 ち放し(見掛り部)は樹脂化粧型枠を採用してくだ さい。

No.	質問	回 答
32	上記質疑が異なる場合、樹脂化粧打放合板型枠の具体的な使用範囲と材料を御指示下さい。	同上
33	Ab-026~034 Aj-018~019 Aj-022 6階、7階及び13階北屋上アスファルト防水について、矩計図 06~14と防水範囲図07~08、11で下記の様になっておりま す。矩計図06~14を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩計図06~14: アスファルト防水断熱工法+押えコンクリート(正) ・防水範囲図07~08、11: アスファルト防水露出断熱工法	防水範囲図を正としてください。
34	Ad-002 サービスヤード グレーチング蓋及び桝蓋は下記の様に考え て宜しいでしょうか。 ①グレーチング蓋 W200:スチール製 軽歩行用 細目タイプ ②グレーチング桝蓋 400角:粧蓋タイプ	①よろしいです。 ②450角とします。
35	Ag-015 標準詳細図15のD15-7よりAW上部 アルミ庇の裏面にロック ウールの様な図示がありますが、RWt30吹付を見込むと考え て宜しいでしょうか。	RWt50とします。
36	Ab-034、Ad-024 13階 AX4/AY5-AY9通間のバルコニー外壁に於いて、下記 の様になっております。平面詳細図及び立面図を正と考えて 宜しいでしょうか。 ・立面図03:立面凡例C(ECP下地+2-ASE) (正) ・矩計図14:ALC t100 ・13階平面詳細図:ECP(正)	よろしいです。
37	Ad-016、Ad-017 6階平面詳細図01·02に於いて、AX2通·AX11通·AY12通に DP □100の記載がありますが、仕様を御指示下さい。	アルミバンドレスロ-100角タイプ(指定色)とします。
38	Ab-032 矩計図12より2階 AXO-AX1通間 風除室屋根がありますが、 下記を見込むと考えて宜しいでしょうか。 ①落し口: φ75 防塵網付(1か所) ②竪樋:塩ビライニング鋼管(DLLP) φ75 防露巻き付	①落し口RD ϕ 100 2箇所 ②SGP管 2箇所設置とします。
39	Ab-014、Ab-029 東立面 1階撥水剤塗布の下地について、下記の様に記載されておりますが、立面図(東側)を正と考えて宜しいでしょうか。 ・立面図(東側) :RC化粧打放 (正) ・矩計図09(AY13~14通り) :RC化粧打放杉板本実	よろしいです。
40	上記質疑が異なる場合、RC化粧打放杉板本実の具体的な 使用範囲を御指示下さい。	_
41	Ab-021~025 Aj-017 5階屋上アスファルト防水於いて、矩計図01~05と防水範囲 図06で下記の様になっております。矩計図01~05を正と考え て宜しいでしょうか。 ・矩計図:アスファルト防水断熱工法+押えコンクリート(正) ・防水範囲図:アスファルト防水露出断熱工法	防水範囲図を正としてください。
42	Ab-009、金抜き設計書 塔屋屋根にタラップの図示はありませんが、金抜き設計書- 建-P.396に倣い見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
43	Ad-015 RF(5F)屋上のルーフドレンは ø 100と考えて宜しいでしょう か。	よろしいです。

No.	質問	回 答
44	Ab-23 矩計図03に於いて、<3-C>断面 西側2FL植込RC部の、 建物内の植込内部に防水は不要と考えて宜しいでしょうか。	不要とします。
45	金抜き設計書 上記質疑に関連し、植込の植栽は金抜き設計書-建-P.459 を参考にして さつきつつじ 密植 5本/㎡と考えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
46	Ab-022、Ad-003、Ag-002 1階 BX4/BY4-6、BY6/BX4-5 駐車場外壁の木ルーバに於いて、仕様が下記の様になっております。標準詳細図02を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩計図02:樹脂性 木目調ルーバー 150×75@125 ・標準詳細図02 D2-06:木ルーバー(秋田杉 シリコン系撥水材塗布) 150×60@150 (正)	よろしいです。
47	Ab-022、Ad-003、Ag-002 1階 BY6/BX4-5 1階駐車場外壁に於いて、下記の様になっ ております。東側立面図及び平面詳細図を正と考えて宜しい でしょうか。 ・立面図01(東側)、1階平面詳細図 D2-06:木ルーバー (正) ・1階平面詳細図図示:ECP	よろしいです。
48	Ad-003、Ag-002 標準詳細図02 D02-06 木ルーバーより 西側高さは2825と 記載されておりますが、1階平面詳細図では見当たりません。範囲を御指示下さい。	西側はなしとします。
49	Ab-017、Ab-025 1階BX5/BY1-6南側外壁に於いて、下記の様になっております。南側立面図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・立面図04(南側): 凡例「b" JECP下地+セラタイト(正) ・矩計図05: ECPt60+角波ガルバリウム鋼板	よろしいです。
50	Aa-017 仕上表-共通事項No.71より「空気清浄度管理が必要な場合は壁・天井のケイカル接合部にシール目地(防カビタイプ)を施すること」と記載されておりますが、該当する部屋は下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ①手術部門 ②中材部門	①②のほか、空気清浄度管理が必要な部屋については空調設備図を参照ください。
51	Ag-007 標準詳細図07に於いて、衝突防止柵(D7-18)の長さは L1000と考えて宜しいでしょうか。	自動扉の引込長さ程度とします。
52	Ag-008 標準詳細図08に於いて、集水桝(D8-18)の設置場所は解剖 室等と記載されておりますが、5階平面詳細図より見受けら れません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。	解剖室に1箇所、厨房エリアに11箇所見込んでく ださい。
53	Aa-015、金抜き設計書 特記仕様書06に於いて、床点検口600角ステンレス製と記載 されておりますが、金抜き設計書に倣い、医療棟:15か所、 支援棟:5か所見込んで宜しいでしょうか。	Ab-003図、Ad-018図に記載のとおりとします。
54	Aa-017、Ag-009 仕上表-共通事項No.85より「患者利用の脱衣室・更衣室に各1か所ずつI型手摺(TOTO:YHR800W)を見込むこと」と記載されておりますが、標準詳細図-D9-07 WC付属品のWC用多用途手摺(I型)と同仕様となっております。WC付属品は別途工事となっているため、I型手摺は別途工事と考えて宜しいでしょうか。	WC付属品は別途工事としますが、患者利用の 脱衣室・更衣室には、I型手すりを見込んでください。

No.	質問	回 答
55	金抜き設計書 下記項目は工事範囲外となっておりますが、取付下地補強のサイズ・仕様及び設置数量は金抜き設計書に倣って宜しいでしょうか。 ①化粧鏡 ②姿見鏡 ③小便器手摺 ④紙巻器付L型手摺 ⑤多用途手摺(L型) ⑥多用途手摺(I型) ⑦可動手摺 ⑧背もたれ	図面記載の通り(Ag-009 D9-08)の通りとします。
56	Ag-006 標準詳細図0 D6-11壁点検口より「各病室・病室内WC・ HWC・各WCに各1か所設置」と記載されておりますが、下記 の様に考えて宜しいでしょうか。 ・病室:1床室、2床室、4床室、特床室、保護1床室に各1か 所設置 ・病室内WC・HWC・各WC:洋風大便器に各1か所設置	よろしいです。
57	金抜き設計書 天井点検口450角/600角(建築・電気・機械)と天井軽鉄下 地開口補強の数量は金抜き設計書に倣って宜しいでしょう か。	図面記載の通り(Ag-007 D7-05)とします。
58	Aa-023 内部仕上表07に於いて、5FL医療棟 中央材料 組立・減菌の 床仕上に長尺塩ビシートHと記載されておりますが、内外装 仕上表に長尺塩ビシートHは見当たりません。長尺塩ビシー トCと読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
59	Ab-003 ピットの階段の仕上は下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ①医療排水置場:モルタル 素地 ②RI排水処理総:ビスフェノール系ビニルエステル樹脂系防水 ③災害用汚水槽:ビニルエステル樹脂防水 t3.0 3ply	よろしいです。
60	Aa-024、Aj-018 3Fオイルタンク室や空調機械室2の防水に於いて、内部仕上表と防水範囲図で下記の様になっております。内部仕上表 08を正と考えて宜しいでしょうか。 ・内部仕上表08 : 塗膜防水 (正) ・防水範囲図07_6階 : 防水なし	よろしいです。
61	Aa-019、Aj-014 2階風除室3の防水に於いて、内部仕上表と防水範囲図で下記の様になっております。内部仕上表03を正と考えて宜しいでしょうか。 ・内部仕上表03 : アスファルト防水(正) ・防水範囲図03 : 防水なし	よろしいです。
62	Aa-023、Ad-030、金抜き設計書 内部仕上表07に於いて、5階ICUSSの備考欄にモニター吊下 地補強と記載されておりますが、金抜き設計書に倣い設置 箇所10か所、詳細図:吊物補強(D7-26)で宜しいでしょうか。	12か所としてください。
63	Aa-020、Ag-007 内部仕上表04-3階待合5-備考欄にモニター吊下地補強が 記載されておりますが、標準詳細図07のD7-26吊物補強の 45か所に含まれていない場合、設置箇所を御指示下さい。	45箇所に含みます。
64	Ae-005、Ag-007 病室詳細図05に於いて、無菌室に天井点検口(450角)と図示されておりますが、標準詳細図07の天井点検口(D7-05)では200か所と記載されております。無菌室の天井点検口の4か所は200か所に含まれていないと考え合計204ヶ所見込むと考えて宜しいでしょうか。	無菌室を含み、200箇所とします。

No.	質問	回 答
65	Ac-003、金抜き設計書 内部階段詳細図03に於いて、左下3〜4FLの階段断面に自 立式手摺と図示されておりますが、仕様は参考内訳書に倣 い下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ①手摺:SUS φ32×2 HL ②ブラケット:St φ9 ③横桟:St FB-6×32 3本	よろしいです。
66	Aa-028、Ae-005 内部仕上表12に於いて、無菌室の巾木には床材巻上H100 と記載されておりますが、仕上は無菌病室ユニット工事にな る為、建築工事外と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。但し本工事の対象となります。
67	Aa-017、Ad-002 内部仕上表01に於いて、下記部屋の備考欄に地流しと記載されておりますが、1階平面詳細図02には見当たりません。 各室に1か所見込んで宜しいでしょうか。 ①産業廃棄物ゴミ ②資源化物ゴミ	よろしいです。
68	Ad-004~017、Ag-008 SUS流し(D8-13)の長さが下記の様になっております、標準詳細図08を正と考えて宜しいでしょうか。 ・標準詳細図08: L1500 (正) ・2階平面詳細図:L1350 (製剤エリア) ・4階平面詳細図:L1200 (細菌検査室、臨床検査室) ・5階平面詳細図:L1200 (染色室) ・6階平面詳細図:L1200 (熱源機械室2)	よろしいです。
69	Ad-010、011、Ag-008 SUS流し(D8-13)隔て板の長さが下記の様になっております、標準詳細図08を正と考えて宜しいでしょうか。 ・標準詳細図08: W750 (正) ・4階平面詳細図:W1000(細菌検査室、臨床検査室)	よろしいです。
70	Ad-004~024、Ag-009 標準詳細図09に於いて、トイレブース内標準詳細(D9-02)に 点滴フック掛けと洋服掛けフックが図示されておりますが、下 記の便所に見込むと考えて宜しいでしょうか。 ①2階WC1~4 ②3階WC1~5、尿流量WC(通りX2/Y13) ③4階WC1~3 ④7~13階床室WC	SWCを除くすべてのWCに見込んでください。
71	Ad-004~024、Ag-009 上記に続き、下記SWCには洋服掛けフックのみ見込むと考えて宜しいでしょうか。 ・2階SWWC1、SMWC1、SWC1~4 ・4~5階SWC1~7 ・7~13階SWC	よろしいです。
72	Ad-019~022、Ag-010 7、8、10、11階建具キープランに於いて、廊下に収納(通り AX8/AY6)の扉は建具記号と記載されておりませんが、9、 12、13階に倣い、標準詳細図 D10-4より病棟廊下車椅子・ ストレッチャー置場と上部収納と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
73	Ag-010、Ad-028 インジェクター架台用アンカーボルトの設置場所に於いて、 下記の様に記載されております。天井伏図を正と考えて宜し いでしょうか。 ・天井伏図:3階CT室 1か所、体外計測 1か所(正) ・標準詳細図10のD10-09:2階CT室 2か所	よろしいです。

No.	質問	回 答
74	Ad-027、028、030、Ag-010 2階・3階・5階天井伏図に於いて、下記部屋に天吊アンカーボル(M20アンカーボルト)と記載されておりますが、標準詳細図D10-08に倣って宜しいでしょうか。 ・2階CT:1か所 ・3階内視鏡室1~4:4か所 ・5階OP3:2か所	よろしいです。
75	Aa-017~031、Ad-001~024 内部仕上表により下の様に備考欄に記載されておりますが。平面詳細図には見当たりません。該当なしと考えて宜しいでしょうか。 <2FL> ・待合5~7:I型手摺 ・トリアージ:受付カウンター ・救急待合:I型手摺 <3FL> ・カンファレンス説明室:椅子、机 <4FL> ・生理器材説明室:椅子、机 <5FL> ・器材1:棚 ・スタッフ室3:吊戸棚 <13FL> ・開鎖ディ:カウンター ・開放ディ:カウンター ・ア~9、11、12階ディ:ディカウンター	よろしいです。
76	上記質疑が異なる場合、仕様・詳細、箇所数を御指示下さい。	-
77	金抜き設計書 金抜き設計書に於いて、機械室、熱源機械室他に吊りフック (耐荷重60KN)は26か所を計上しておりますが、今回の図面 には見当たりません。金抜き設計書に倣い計上して宜しいで しょうか。	26ヶ所とします。
78	Ak-005、008 昇降機設備詳細05、08に於いて、断面図にEV5~9の吊フック(記号a) 2か所と図示されておりますが、耐荷重60KN/1ケ吊フックと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
79	金抜き設計書 金抜き設計書に於いて、2階風除室1に靴拭きマット(詳細図 D2-16)は1か所が計上しておりますが、今回の図面には見 当たりません。金抜き設計書に倣い計上して宜しいでしょう か。	Ad-003、Ad-006を参照の上計上ください。
80	Aa-005、Aa-028、Ae-005、金抜き設計書 無菌室ユニットの工事区分について、下記の様になっております。内部仕上表12及び金抜き設計書を正と考えて宜しいでしょうか。 ・参考内訳書 :別途工事(計上されておりません)(正)・内部仕上表12 :別途工事(正)・工事区分表01 :建築工事・病室詳細図05(無菌室) 工事区分表:本工事	工事区分表01および病室詳細図05(無菌室)を正とします。金抜き設計書については設備工事に記載しています。
81	Aa-028、Ae-005 無菌室壁仕上(メラミン不燃化粧板t3.0)の工事区分について、下記の様になっております。内部仕上表12を正として、無菌室ユニット工事と考えて宜しいでしょうか。 ・内部仕上表12 :記載なし(正) ・病室詳細図05(無菌室) 工事区分表 :建築工事	病室詳細図05(無菌室) 工事区分表 :建築工事 を正とします。
82	Aa-020、Ah-003、Ah-004 3F脳波室及び筋電室の床嵩上げCONの厚さについて、下記 の様になっております。内部仕上表04を正と考えて宜しいで しょうか。 ・内部仕上表04 :t150(正) ・放射線詳細図03、04 :t100	よろしいです。

No.	質問	回 答
83	Aa-021、Ad-007 3階放射線診断 更衣4~10の床下地について、下記の様に なっております。内部仕上表05を正と考えて宜しいでしょう か。 ・内部仕上表05 :OAフロアH200 (正) ・3階平面詳細図01 :押えコンクリートt200	よろしいです。
84	Aa-021、Ad-007 3階放射線診断 血管確保 準備の床下地について、内部仕 上表05ではOAフロアH200と記載されておりますが、3階平面 詳細図01ではOAフロアの範囲印となっておりません。3階平 面詳細図01を正として、仕上直貼と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
85	Aa-022、Ad-010 4階給食 カートプールの巾木について、下記の様になっております。内部仕上表06を正と考えて宜しいでしょうか。 ・内部仕上表06 : ウレタン系塗床 H300 (正) ・4階平面詳細図01 : STG-B 床材巻上 H1000	よろしいです。 但し、STG-Cを設置ください。
86	Aa-022、Ad-029 内部仕上表06に於いて、4FL医療棟 給食 更衣室5·6の備考 欄にCR カーテンレールと記載されておりますが、4階天井伏 図には見当りませんが、設置範囲を御指示下さい。	
87	Ad-008、Ad-011、Ad-017 3、4階平面詳細図02に於いて、手洗(通りAX6/AY9)が図示されております。仕上はWWCに倣って、下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ①床:長尺塩ビシートA ②巾木:床材巻上H100 ③壁:メラミン化粧板A ④天井:EP-G CH2500 ⑤廻り縁:塩ビ	よろしいです。
88	Aa-025、S-209 下記部屋の床レベルについて、7階梁伏図ではFL-950となっ ておりますが、内部仕上表ではFL-10となっております。7階 梁伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ①1床室1 ②1床室4 ③HWC3(通りX5/Y4) ④WC15~16(通りX4/Y5)	よろしいです。
89	Aa-018~019、Ae-008 外来ストリートの壁仕上に於いて、下記の様になっております。展開図01を正と考えて宜しいでしょうか。 ・内部仕上表02~03 :無機質壁紙Aと内外装薄塗材E ・展開図01 :木製クロスとEP (正)	よろしいです。
90	Aa-018、Aa-020 内部仕上表02、04に於いて、2~3Fブロック受付の天井仕上は木製クロスと記載されています。壁木製クロスの範囲と合わせ、施工範囲は下記の様に考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
91	Ad-010 4階平面詳細図01於いて、廊下3は一部コーナーカードBと記載されておりますが、コーナーカードDと読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

No.	質問	回 答
92	Aa-031 内部仕上表15に於いて、13F保護室1〜2の壁仕上には床材 立上と記載されておりますが、無機質壁紙Aと読み替えて宜 しいでしょうか。	床材立ち上げとしてください。
93	Aa-018 1FL医療支援棟 共用 ELVホール3の壁仕上について、下記 の様に考えて宜しいでしょうか。 ①RC壁の場合:化粧打放し補修+撥水材塗布 ②LGS壁の場合:GB-R+メラミン化粧板A	よろしいです。
94	Aa-018、021 内部仕上表03・05に於いて、2F医療連携室及び3Fスタッフコ モンズの壁仕上はメラミン化粧板Aと無機質壁紙Aの2種類と 記載されております。メラミン化粧板AはH2000まで、それより 上部を無機質壁紙Aと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
95	Aa-023 内部仕上表07に於いて、4F理事長室及び院長室の壁仕上 は練付合板と無機質壁紙Bの2種類と記載されております。 練付合板はH2000まで、それより上部を無機質壁紙Bと考え て宜しいでしょうか。	よろしいです。
96	Ad-006~012、Ag-009 標準詳細図09のトイレブース内標準詳細(D9-02)に、点滴 フック掛けと洋服掛けフックと図示されております、2~4階 SWWC、SMWCに洋服掛けフックのみ見込むと考えて宜しい でしょうか。	よろしいです。
97	Aa-019、Ad-006 内部仕上表に於いて、2階SKの備考欄に吊棚と記載されて おりますが、平面詳細図には見当たりません。該当なしと考 えて宜しいでしょうか。	吊棚は不要です。但し、棚板(Ag-008 D8-05) は図面通り必要となりますので設置ください。
98	上記質疑が否の場合、仕様・詳細を御指示下さい。	_
99	Af-014、Af-027 ACW-01の寸法について、建具表・姿図と建具詳細図で下記 の様になっております。建具詳細図を正と考えて宜しいで しょうか。 建具表・姿図:W9500×H16450 〇詳細図:W8155×H16480(正)	W8375×H16450としてください。
100	Af-014、021,Af-028 ACW-02のH寸法について、建具表・詳細図と姿図で下記の 様になっております。建具詳細図を正と考えて宜しいでしょう か。	W6600×H15085としてください。
101	Af-019 建具表06に於いて、SP-11に「図示」とありますが、図示が見 当たりません。寸法・ガラス・仕様等詳細を御指示下さい。	SP-11は、2階の外来レストランとラウンジの間にあり、下図のとおりとします。 FIX
102	Af-002 2F建具キープランの西面外部に《OS-01》が2箇所ありますが、建具表に見当たりません。建具表を御提示下さい。	・電動式 ・OS1・・・オーバースライダー ・寸法・・・W4000×H3250 ・仕上・・・(スラット)アルミ焼付(レール)ステンレス 三方枠共

No.	質問	回 答
103	Af-018、Ag-007 可動ロール式防煙垂壁について、標準詳細図と建具表で下 記の様になっております。詳細図を正と考えて宜しいでしょう か。 建具表:SUS FB枠 SOP(SM-501は焼付) 〇詳細図:St.FB6×38 UE (正)	よろしいです。
104	Af-019、Af-040 DF-01~03の裏面処理について、建具表と詳細図で下記の様になっております。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表:グラウト t50 吹付 〇詳細図:グライト t5 吹付 (正)	よろしいです。
105	Af-014 建具表01に於いて、SD-108の排煙窓(オペレーター含)欄に 〇がありますが、型式は《両-1》で寸法もH2000となっていま す。排煙窓は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
106	Af-003 3F建具キープランに於いて、処置5-準備室間の片引き戸の 建具記号が見受けられません。《LD-16》と考えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
107	Af-003 3F建具キープランに於いて、更衣室(女)-管理・事務間の片 開き戸の建具記号が見受けられません。《WD-01》と考えて 宜しいでしょうか。	よろしいです。
108	Af-003 3F建具キープランに於いて、DS/PS5の片開き戸の建具記 号が見受けられません。《SD-129》と考えて宜しいでしょう か。	よろしいです。
109	Af-005 5F建具キープランに於いて、麻酔科医室の片開き戸の建具 記号が見受けられません。《LD-01》と考えて宜しいでしょう か。	よろしいです。
110	Af-006 6F建具キープランに於いて、講堂収納5の親子開き戸の建 具記号が見受けられません。《LD-46》と考えて宜しいでしょ うか。	よろしいです。
111	Af-007 8F建具キープランに於いて、特床室入口片引き戸の建具記 号が見受けられません。《WD-500》と考えて宜しいでしょう か。	よろしいです。
112	Ad-020、Af-008、Af-018 SW-503について、建具表で防火設備の指示がありますが、 建具キープランには《防》の記載が見られません。取付場所 の間仕切が耐火間仕切であるため、建具表の防火設備を正 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
113	Af-018、Af-022 建具表05に於いて、SW-501・504のH寸法はH2000となって いますが、姿図はFL+1000に付く図示となっています。姿図 を正としSW-501・504のH寸法はH1000と読替えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
114	Af-007~010、Af-017 建具表04に於いて、STD-504に電気錠の指示はありませんが、建具キープランでは《電》の記載が見られます。キープランを正としSTD-504は電気錠付と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
115	Af-006 6F建具キープランに於いて、AX1-AY13通·AX12-AY9通にあ る片開き戸の建具記号が見受けられません。《SD-513》と考 えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

No.	質問	回 答
116	Ad-008、Af-003、Af-018 SW-004は建具表に防火設備の指示がありますが、建具 キープランには《防》の記載が見られません。 AX8-9通に付くSW-004は間仕切が耐火間仕切であるため、 建具表の防火設備が正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
117	Ad-008、Af-003、Af-018 前項質疑に関連して、AY6-7通は一般間仕切なので建具 キープランの一般建具を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
118	Ad-008、Af-003、Af-018 また、上記質疑が正の場合、ガラスはNTt5.0→Tt5.0と読替 えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
119	Ad-018~024、Af-007~010、Af-015 SD-504は建具表に防火設備の指示がありますが、建具 キープランには《防》の記載が見られません。 取付場所の間仕切が耐火間仕切であるため、建具表の防 火設備を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
120	Af-007 7F建具キープランに於いて、1床室2内のトイレ扉の建具記号が見受けられません。《LD-504》と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
121	Ad-018~024、Af-007~010、Af-017 LD-506・515・530・531について、建具表には防火設備の指示がありませんが、建具キープランでは《防》の記載が見られます。取付場所の間仕切が耐火間仕切であるため、キープランの防火設備を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
122	Af-017 前項質疑が正の場合、LD-531のガラスはTt5.0→Nt t5.0と 読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
123	Af-009、Af-017 LD-524について、建具表に《特》の指示がありますが、ガラスはT8.0となっています。 建具キープランに《特》の記載は見られないので、LD-524は一般建具と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
124	Ab-021、Af-030 AW-02 上部内部側の納まり詳細が、矩計図と建具詳細で下記の様になっております。建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 矩計図:バックパネルt20 〇建具詳細:カーテンボックス バックパネル無し(正)	矩計図を正とし、バックパネルありとしてください。
125	Ab-021他、Ad-027~031、Af-030他、金抜き設計書 2~6Fのサッシに付くブラインドボックスについて、矩計図・建具詳細図では「St t1.6」の記載が見られますが、天井伏図では「アルミ製」となっています。金抜き設計書に於いても「ブラインドボックス・額縁:アルミ製」とあるので、アルミ製を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
126	Af-011、Ag-007 ガラス凡例で、《WP》は『網入り・網入り磨き板ガラス』となっ ていますが、固定式垂壁のガラスは『線入磨き板ガラス』と考 えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
127	Ad-027~031 前項質疑が正の場合、天井伏図の凡例に「アルミt1.6曲加工 SOP」とありますが、「アルミt2.0曲加工B-FU」と読替えて宜し いでしょうか。	よろしいです。

No.	質問	回 答
128	Af-021、037 建具姿図・建具詳細図にAW-17とありますが、建具表・建具 キープランに見当たりません。 該当建具無しと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
129	Af-001 1F建具キープランに於いて、メンテナンススペースBX4通部 分の片開き戸の建具記号が見受けられません。《SD-04》と 考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
130	Af-010、Af-015 SD-522の備考欄に「カードリーダー式電気錠」とありますが、 電気錠欄には〇がありません。 13F建具キープランに《電》の記載があるので、カードリー ダー対応電気錠と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
131	Af-011 建具関連共通事項-8枠納まり関連共通事項-3に於いて、 『木製扉の扉枠はスチール製』とありますが、 仕上は《B-FU》と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
132	Ab-033、Af-011 建具関連共通事項-10一般共通事項15.に「チャンバーは設 備工事」となっているので、矩計図13の《13-B》6Fに図示の ある「チャンバーBOX(建築)」は設備工事と考えて宜しいで しょうか。	建築工事としてください。
133	Ab-031、Af-014 建具表01でAW-11のH寸法はH2900ですが、矩計図11で4F の西面AX5-7通間には、屋外機置場がありH800の立上りが あります。ここに該当する4か所のAW-11はH2100と考えて宜 しいでしょうか。	よろしいです。
134	Af-011、Af-014 建具表でAW·PWの網戸欄に指示がありませんが、建具関連 共通事項-10一般事項21.に『外壁に接する病室・その他諸 室には網戸を設ける』とあるので、AW·PWの可動部には網 戸を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
135	Af-015、Af-020 建具表02でSD-136にガラスの指示がありませんが、型式 《親-2》は親子開き框戸です。熱源機械室-2に付く建具なの で、《親-1》のフラッシュ戸と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
136	Af-017 STD-504について、空白部分は下記の様に考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
137	Af-014、17 STW-02·03·STD-107の仕上は『SUS VB』と考えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
138	Af-018、Ag-007 ガラス垂壁のガラスが、建具表と標準詳細図で下記の様になっております。標準詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表:強化ガラス t5 〇詳細図:強化ガラス t6 (正)	よろしいです。

No.	質問	回 答
139	Af-027 ACW-01の詳細図で4F下り壁より上の部分の仕様が、展開 図とB SEC図で相違しています。B SEC図を正と考えて宜し いでしょうか。 展開図:目隠しボードt10 〇 B SEC:耐火ボードt20+秋田杉板練付板t20(正)	よろしいです。
140	前項質疑が否の場合は、目隠しボードの仕様と表面仕上を 御指示下さい。	-
141	Af-035 建具詳細図13でAW-11·21のFL+1550部分にバックパネルの 図示がありますが、ケイカル板t10 EP塗りと考えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
142	Af-21、Af-035、036 AW-10·11·15·21のガラス割付が建具姿図と詳細図で相違 しています。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
143	Af-036 建具詳細図14より、AW-10・15の懐部・層間部に耐火ボード の図示がありますが、仕上はEP塗りと考えて宜しいでしょう か。	よろしいです。
144	Af-038 建具詳細図16に於いて、PW-03の姿図にハッチが掛った部 分がありますが、ケイカル板t10 EP塗りと考えて宜しいでしょ うか。	よろしいです。
145	Ad-003、Af-017 建具表04でSTD-01はW6000ですが、使用箇所の1F風除室1 の平詳では、外部:W5000・内部:W3900程度と思われます。 平詳を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください・
146	Af-014 建具表03でLD-058は非常錠(非常時解錠)となっています が、キープランには《電》とあります。非常時解錠電気錠と考 えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
147	Af-017 LD-511(防火設備)について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ・オートドアセンサー:タッチ式 ・ガラス T8.0 → Nt 8.0	よろしいです。
148	Af-008 9F1床室2のWC6及び10F無菌室2内WCの扉の建具記号が 不明です。《LD-504》と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
149	Af-010 13F面談1・器材1間の廊下にある2枚片引き戸の建具記号が 不明です。《LD-524》と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
150	Af-017 建具表04でSTD-13の備考欄に『ナブコ防火戸同等』とありますが、防火性能の指示は無く、ガラスもT8.0となっているので、一般建具(ナブコロスカドア同等)と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
151	Af-005、Af-017 STD-102について、5F建具キープランに電気錠の指示はあ りませんが、建具表では『カードリーダー式電気錠』の記載が あります。建具表を正として宜しいでしょうか。	よろしいです。
152	Af-005、Af-017 STD-103について、建具表備考欄に『ナブコ防火戸同等』と 記載がありガラスもNt5.0ですが、《特》の指示はありません。 5F建具キープランでも《特》の指示はありません。STD-103 は一般建具(ナブコロスカドア同等)ガラスT8.0と読替えて宜し いでしょうか。	よろしいです。

No.	質問	回 答
153	Af-005、Af-017 STD-103について、建具表備考欄に『ナブコ防火戸同等』と記載がありガラスもNt5.0ですが、《特》の指示はありません。 5F建具キープランでも《特》の指示はありません。STD-103 は一般建具(ナブコロスカドア同等)ガラスT8.0と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
154	Ad-004、Af-002、Af-017 STD-104について、建具表に《特》の指示はありませんが、 2F建具キープランでは《特》となっています。耐火間仕切に付 く建具なので、《特》ガラスT8.0→Nt5.0と読替えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
155	Af-017 STD107について、建具表備考欄に『ナブコ防火戸同等』とありますが、防火性能の指示はありませんので、一般建具(ナブコロスカドア同等)と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
156	Af-026 建具詳細図04(SLW)に収納庫扉の図示がありますが、仕上が不明ですSLWと同仕様の『不燃化粧仕上材(壁紙)貼り/東リリアルデコ同等品』と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
157	Af-008~010、Af-015 建具表02に於いて、SD-510の備考欄に『SD-510bはW2650 とする』とありますが、建具キープランに《SD-510b》が見当た りません。不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
158	Af-016、017 建具表に於いて、LD-31、STD-12、20、104、500の備考欄に 『フィルム貼り』とありますが『飛散防止フィルム』と考えて宜 しいでしょうか。	よろしいです。
159	建具表と建具キープランで建具の箇所数が相違している場合、建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください・
160	Ad-013、Af-005、Af-016 建具表03に於いて、LD-28bは使用箇所:染色室 W1200と なっていますが、建具キープランのLD-28bの箇所は倍検室 で開口巾もW900程度です。金抜き設計書にLD-28b(染色 室)W1200とあるので、建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
161	Af-005 5F建具キープランに於いて、ES6の片開き戸の建具記号が 不明です。《SD-141》と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
162	Af-005·007、Af-017 建具表でLD-516·STD-102は自動ドアですが、建具キープランでは《A》の指示がありません。建具表の自動ドアを正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
163	Af-001、Af-018 SS-06について、建具表で《特》となっていますが、建具キー プランには指示がありません。建具表を正と考えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
164	Af-002、Af-018 SS-07について、建具表・キープランではH2700の一般建具 ですが、耐火間仕切に付くカウンター上のシャッターなので、 H1700の特定防火設備と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

No.	質問	回答
165	Ad-005、Af-002、Af-016 LD-101のガラスについて、建具表に『Nt5.0』とありますが、 防火性能の記載はありません。一般間仕切に付く建具なので、『T5.0』と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
166	Ad-005、Af-002、Af-016 LD-102のガラスについて、建具表に『Nt5.0』とありますが、 防火性能の記載はありません。耐火間仕切に付く建具なの で、『特定防火設備』と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
167	Af-017 LD-527のガラスについて、《防》の指示があるのでTt5.0→Nt t5.0と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
168	Af-023、025 SP-1·5の木突板シート貼りのメーカー品番を御指示下さい。	ホクサン サンフット同等としてください。
169	Af-011、014 建具共通事項に網入ガラスは防犯フィルムを貼るとありますが、PW-07~10は飛散防止フィルムの指示もあります。どちらも見込むと考えて宜しいでしょうか。	PW-7~9は飛散防止フィルム貼りのみとし、PW- 10は防犯フィルム貼りとしてください。
170	Af-002、018 SS-02について、建具表に防火性能の記載がありませんが、 建具キープランでは《特》となっています。備考欄に『防火防 煙シャッター』とあるので《特S》と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
171	Af-001~009、Af-018 建具表でシャッターは全て袖扉付きの記載がありますが、 キープランでは袖扉の図示の無いシャッターも見られます。 袖扉の有無はキープランを正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
172	Ad-007、Af-003、Ah-002 3F RI区画放射線防護室部分の間仕切・建具プランが、放射 線詳細図0と平詳・建具キープランとで 相違しています。放 射線詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
173	Ah-001 放射線詳細図01で結石破砕実に《PbD-02》とありますが、建 具リストに見当たりません。《PbD-21》と読替えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
174	Ah-001、002 放射線詳細図の建具リストに、PbW-02は3か所となっていま すが、キープランにはCT室-操作室間の2箇所しか見当たり ません。PbW-02は2か所と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
175	Ah-002 建具の塗装について、工事区分表に『A建築工事-7建具塗装:放射線防護工事〇』とありますが、放射線防護扉詳細図 (片引手動)では『仕上塗装は建築工事』と記載があります。 建具の塗装は建築工事と考えて宜しいでしょうか。	本工事の対象とし、建築工事とするか放射線防護工事とするかは、任意とします。
176	前項に関連して、建具の塗装はSOP塗りと考えて宜しいで しょうか。	BーFUとします。
177	Am-003 仮舗装の断面形状を御指示下さい。	仮舗装は再生②密粒度アスコン(13) t=50 路盤 RC-40 t=150として下さい。
178	Am-029 移植木リストより移植工事期が皿期とある樹木は今回工事 範囲外と考えて宜しいでしょうか。	移植木は全てⅡ期にて仮植地に移植。Am-029図中の移植工事期は本植の工事期を示しており、Ⅱ期と記載しているものは本工事において、本植します。
179	Aa-016、Am-028 特記仕様書-23章より植栽基盤がA種及びB種に●印がありますが(A種・B種共に現状地盤を耕うん)、植込み用土は客土とあります。移植・植栽計画詳細図でも客土の記載があるため、植栽基盤はC種(現状の土壌を植込み用土により置き換える)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 16/23

No.	質問	回 答
180	Aa-016、Am-028 前記質疑に続き、植栽基盤の厚さが特記仕様書と移植・植 栽計画詳細図で相違しています。移植・植栽計画詳細図を 正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
181	Aa-016、Aa-017、Am-022 特記仕様書-21章より排水桝の蓋やグレーチングの耐荷重 『T-20』に●印がありますが、仕上表-共通事項46や排水施 設計画平面図では『T-25』となっております。T-25を正と考え て宜しいでしょうか。	外構計画では、車両走行の有無、状況によりT-2、T-6、T-14、T-25と使い分けています。平面図の他、排水施設構造図や雨水・汚水取付管詳細図を参照願います。
182	Aa-017、Am-003 外部表-共通事項47より『救急車及びローリー車・バスが通 過する場所〜路盤を耐荷重25t仕様とすること』とあります が、該当範囲は舗装計画平面図のアスファルト舗装-2、4と 考えて宜しいでしょうか。	質疑車両が走行する位置は、平面図のアスファルト舗装-2、3、4となります。 ただし、アスファルト舗装-3は路盤部がピットとなっているため舗装は表層、基層のみとなります。
183	前記質疑に続き、アスファルト舗装耐荷重25t仕様の断面形 状を御指示下さい。	Am-020舗装・区画線詳細図を参照願います。 ただし、図中アスファルト舗装-3は表記間違いのため アスファルト舗装-4と置き換えてください。 アスファルト舗装-3はピット上部であることから断面が ありません。
184	Am-003、Am-020、Ab-022 舗装計画平面図よりアスファルト舗装1~4がありますが、舗装・区画線詳細図のアスファルト舗装とリンクしていないと思われます。(舗装計画平面図のアスファルト舗装3はロータリーピット上部であり矩計図ではアス舗装t50+50+保護コン+アス防水ですが、舗装・区画線詳細図のアスファルト舗装3はアス舗装t40+M-40t150+RC-40t150となっております。)アスファルト舗装1~4の各断面詳細を御指示下さい。	上記と同様となりますが、 アスファルト舗装-1、2は図面のとおり。 アスファルト舗装-3はピット上部より断面なし。 アスファルト舗装-4(Am-20)は「アスファルト舗装-3」 は誤記とし、「アスファルト舗装-4」に読み替えてください。
185	Aa-016、Am-020 アスファルト舗装の表層アスコンの仕様に於いて、特記仕様書-22章-4節と舗装・区画線詳細図で下記の様になっております。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 ・特記仕様書:密粒度アスファルト混合物(13F)(正)・舗装・区画線詳細図:再生密粒度アスコン(13)	寒冷積雪地では密粒度アスファルト混合物(13F)を使用となりますが、秋田県では「舗装の構造に関する技術基準」において当該区域の交通区分量(N3)であることから、再生②密粒度アスコン(13)となります。 上記で秋田市道路管理者からの同意及び開発許可を取得済。
186	Am-020 舗装・区画線詳細図より視覚障害者誘導ブロックの厚さが t60と80の記載がありますが、使い分けが不明です。t60で見 込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
187	Am-021 前記質疑に関連し、メッシュフェンスの基礎が根固ブロックと Co連続基礎の2種類ありますが、Co連続基礎が現場打ちRC 製の場合、配筋要領・Fc・Sを御指示下さい。	連続基礎は現場打ちとし、構造計算上無筋で問題なし。 Fc·Sは秋田県土木工事共通仕様書(別表-1)レディーミクストコンクリート標準使用基準18-8-40とする。
188	Am-009、002、金抜き設計書 排水施設構造図よりU-300A(Ⅱ種)とありますが、車道部で あり金抜き設計書-外構-P.6でも3種とあるため、3種に読み 替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
189	Am-002、Am-009 排水施設計画平面図よりNo.24集水桝がT-25とありますが、 排水施設構造図ではT-6とあります。車道部のためT-25を 正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
190	Am-002 排水施設計画平面図よりNo.30道路改良側溝が秋田市施工 とありますが、今回工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
191	上記質疑が否の場合、断面形状等仕様を御指示下さい。	_

No.	質問	回答
192	Am-029、金抜き設計書 伐採樹木に於いて、伐採移植樹木計画平面図の伐採リスト と金抜き設計書-外構-P.41~で大きく相違しています。 伐採 リストではサツキツツジ等も含めてほとんどの樹高が7.0mで あり、胸高直径も樹高7.0mに対して3.0cmと記載されている 樹木もあります。 金抜き設計書では計上されていないNo.184 ~187のイチョウを追加した上で、その他の伐採樹木は金抜 き設計書を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
193	Am-23 オイルタンク 鉄筋コンクリート支柱について、断面図では ϕ 300 と記載がありますが、図面を計測寸法したところ ϕ 350の寸法となっております。 ϕ 350を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
194	Am-023 受水槽基礎に於いて、基礎同士の間隔を計測すると、平面 図とA断面図で下記の様になっております。平面図を正と考 えて宜しいでしょうか。 ・平面図:1.50m(正) ・断面図:1.75m	よろしいです。
195	Am-023 上記質疑に関連して、全ての基礎同士の間隔は下図の通りで宜しいでしょうか(単位m)。否の場合、基礎同士の間隔を御指示下さい。	よろしいです。
196	Am-023 受水槽基礎に於いて、機械基礎W6375×D3375×H600と右 側にありますが、図示を計測するとW6375ではなくW4550となります。W4550を正と考えて宜しいでしょうか。	W6375×D4550とします。
197	Am-023 前記質疑に続き、前記の機械基礎の配筋はL-05べた基礎 (標準図)に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
198	Am-023 受水槽基礎に於いて、断面図にて機械基礎の腹筋が4-D13 とありますが、図示では2-D13となっています。2-D13を正と 考えて宜しいでしょうか。	4ーD13とします。
199	Am-023 前記質疑に続き、幅止筋をD10@1000程度を見込んで宜しい でしょうか。	よろしいです。
200	Aa-002、Ab-002、S-264 キャノピーに於いて、設計概要書より全てⅢ期工事とありますが、全体配置図ではキャノピーAのみⅡ期工事の範囲の中にあります。キャノピーがⅡ期工事に含まれる場合、意匠詳細図を御提示下さい。	キャノピーは皿期工事となります。(本工事対象 外)
201	S-264 キャノピーに於いて、使用するコンクリートはFc24N S18cmと 考えて宜しいでしょうか。	キャノピーはⅢ期工事となります。(本工事対象 外)

No.	質問	回 答
202	S-264 キャノピーに於いて、浅層地盤改良のセメント系固化材の添加量や範囲等を御指示下さい。	キャノピーはⅢ期工事となります。(本工事対象 外)
203	S-264 キャノピーに於いて、柱天端に300mmまたは400mmの増打 ちがありますが、基礎梁FB1・FG1に天端増打ちは不要と考 えて宜しいでしょうか。	キャノピーはⅢ期工事となります。(本工事対象 外)
204	 S-264 キャノピーに於いて、柱天端増打ちの配筋を御指示下さい。 	キャノピーはⅢ期工事となります。(本工事対象 外)
205	S-264 キャノピーに於いて、埋戻土は根切土を用いると考えて宜し いでしょうか。	キャノピーはⅢ期工事となります。(本工事対象 外)
206	E-FA-11、E-FA-18 6階オイルタンク室に於いて、E-FA-11図では感知器が防爆仕様となっておりますが、E-FA-18図では照明器具(A32)が一般仕様です。当該器具を防爆仕様と考えて宜しいでしょうか。	照明器具も防爆仕様で計上してください。
207	E-SP-04、E-LF-01 電気設備工事特記仕様書(2)"2電線保護物類"と幹線系統 図の注記に記載されているケーブルラックの仕様が異なっており ますが、幹線系統図に記載された"Z35"と考えて宜しいで しょうか。	E-SP-**の特記仕様書記述を正としてください。
208	E-SP-05 屋外に設置される盤の仕様に於いて、重耐塩仕様、ステンレス 鋼板製の双方に印が記されています。いずれかの仕様を満 足すれば良いと考えて宜しいでしょうか。	SUS鋼板製とします。
209	E-ID-01~06 診察案内表示設備等の一部弱電設備に於いて、参考数量 表にA材機器が計上されていない設備があります。図面上に 別途工事の記載はありませんが、別途工事と考えて宜しい でしょうか。	診療案内表示設備は配管のみ本工事とし、機器 および配線工事の一切は別途工事とします。 配管施工は軽鉄間仕切壁内建込部、躯体打込 部等のみ施工するものとします。
210	AC-D-011 クエンチ配管屋外開放部のディフレクターは不要と考えて宜しいでしょうか。	ディフレクターを見込んでください。
211	AC-F-011 給油配管は地下オイルタンクから建屋までの間、土中埋設と考 えて宜しいでしょうか。	トラフ内配管とします。 (図面番号 Am-001~004、016、019 オイルタン ク配管ルート参照)
212	AC-F-028~048 空調ドレン縦管に満水継手は不要と考えて宜しいでしょう か。	左記の通りでよろしいです。
213	M-002、014 天井下地の切込及び補強工事の区分が特記仕様書と工事 区分表NO1で異なっています。 工事区分を御指示下さい。	工事区分表の通りとします。
214	M-005 特記仕様書に於いて、蒸気管の使用管材が配管用炭素鋼鋼管(黒)と圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)の2種類の記載がありますが、使用区分を御指示下さい。	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch40)とします。
215	M-005 特記仕様書に於いて、冷媒配管の使用管材が保温付被覆 銅管と記載がありますが、AC-F-036配管図へ厨房機器冷 凍庫への冷媒配管も記載があります。冷凍庫系統も保温付 被覆銅管と考えて宜しいでしょうか。冷媒用銅管に保温材を 使用する場合は仕様を御指示下さい。	保温付被覆銅管とし、その上に軟質ウレタン フォーム40mm巻きとします。 保温外装材はカラー鋼板とします。

No.	質問	回 答
216	M-005 特記仕様書に於いて、油配管に鋳鉄製バルブを使用するように記載がありますが、小口径の鋳鉄製バルブの取り扱いメーカーを御指示下さい。	小口径バルブはダクタイル鋳鉄バルブとします。 取り扱いメーカーはJIS表示認定工場のものとし ます。
217	M-005、016 特記仕様書・金抜き設計書に於いて、ポンプアップ排水管の使用管材100A以上が硬質塩化ビニルライニング鋼管とされていますが、凡例表では65A以上と記載があります。金抜き設計書に合わせて100A以上と考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
218	M-006 特記仕様書に於いて、冷媒管外装材の屋内露出(機械室) に適用印の記載がありませんが、被覆銅管表しと考えて宜し いでしょうか。	外装材は合成樹脂製カバーを見込んでください。
219	M-007 特記仕様書に於いて、配管の凍結防止対策の記載がありますが、対象箇所の記載がありません。屋外露出部分の充水配管に適用と考えて宜しいでしょうか。	1階部分は凍結の恐れがあるため、凍結防止 ヒータ巻きとします。その他、凍結の恐れがある 部分として、屋外露出(地上および塔屋、外壁露 出部)、屋外機械室、免震ピット、サービスヤード (機械室、廃棄物室等含む)、塔屋機械室を見込 んでいます。
220	M-006 特記仕様書に於いて、RI排水、ドレン配管の天井内配管へ 鉛巻を行うように記載されていますが、鉛厚さが不明です。 鉛厚さについて御指示下さい。	鉛の厚さは1mmとし、ドレン配管への鉛巻きは不要とします。
221	M-008 特殊排気系統等のダクト材質へ塩ビコーティングダクトと記載がありますが、内外面塩ビライニングダクトを同等品と考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
222	M-016 凡例表において人口透析排水管が2種類記載されています。ピット内は耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管とし、それ以外を耐熱性耐火ニ層管を使用すると考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
223	M-016 凡例表ではRO水管にステンレス鋼サニタリー管を使用する ように記載がありますが、金抜き設計書では一般配管用ステンレス鋼鋼管で記載されています。一般配管用ステンレス鋼 鋼管を使用すると考えて宜しいでしょうか。	ステンレス鋼サニタリー管とします。
224	AC-B-001 機器表に於いて、冷温水発生器のRB-H-1、RB-H-2の設計 能力が同じ値で記載されていますが、JIS定格能力での加熱 能力が異なっています。設計能力を満足させる機器を選定 すると考えて宜しいでしょうか。	設計能力を満足する機器を設置するものとします。
225	AC-B-002 機器表に於いて、BS-H-1小型貫流ボイラーとBH-H-1温水 発生機をガスと油の切替型で設置するように記載があります が、配管図で油配管の記載がありません。切替型の必要は 無いものと考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
226	AC-B-005 外調機凍結防止用の循環ポンプの使用温度が-6℃~6℃と 記載されていますが、不凍液の記載がありません。不凍液 設備は別途工事と考えて宜しいでしょうか。	不凍液は使用しません。
227	AC-B-005,006 外調機凍結防止用の循環ポンプに於いて、単独交互運転するように記載がありますが、設置台数は1台となっています。 単独運転と読み替えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。

21/23

No.	質問	回答
228	AC-B-012 ヒートポンプエアコンの注記3の予備フィルターに適用印の記載がありませんが、空調機及びファンコイルと同様に予備フィルターは不要と考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
229	AC-B-012 ヒートポンプエアコンの注記12で室外機に防護ネットを取付するように記載していますが、室外機の備考欄へ防雪フード若しくはサイレンサーを取付するように記載されています。両方の設置はできない為、防護ネットの取付は無しと考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
230	AC-B-017 機器表に於いて、ACP-H-5-2-2が冷暖同時マルチ機で記載されていますが、室内機4台に対して冷暖切替ユニットとリモコンが1個となっています。ACP-H-5-2-2は冷暖切替マルチ機を設置と考えて宜しいでしょうか。	冷暖切替とします。
231	AC-B-018 ACP-H-6-1の室外機のような側面吹き出し機種について は、吹き出し側へ防雪フードを取付すると考えて宜しいでしょ うか。	左記の通りでよろしいです。
232	AC-B-024 クリーンファンパッケージの型式に寒冷地仕様と記載されていますが、備考の参考型番は標準機で記載されています。 冷暖切替機、冷暖同時機共に寒冷地仕様ではなく、標準仕 様機器を設置すると考えて宜しいでしょうか。	寒冷地仕様とします。 なお、機器選定において、能力は機器表に記載 の数値以上、消費電力(ただし、暖房低温、暖房 極低温時の消費電力は除く)は機器表に記載の 数値以下のものを選定するものとします。
233	AC-B-032、034 CAVが機器表に記載されていますが、CAV-H-2-3-3Eが計 装図で記載がありません。また、CAV-H-2-4-1Eは計装図に ありますが機器表に記載がありません。計装図を正として考 えて宜しいでしょうか。また、その場合のCAV-H-2-4-1Eの 使用を御指示下さい。	CAV-H-2-3-3E、CAV-H-2-4-1Eともに設置します。 (図面番号 AC-C-007、AC-C-009参照) CAV-H-2-4-1 風量800m3/h、その他仕様は CAV-H-2-4-2Eと同じとします。
234	AC-B-101 支援棟の外調機は冷温水コイルであるため、冬期は温水の 状態と思われますが、外調機の凍結防止用ポンプ使用温度 -6℃~6℃で問題無いでしょうか。使用温度の記載は考慮し ないと考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
235	AC-B-103 ACP-S-2-1-1の室内機接続容量が130%を超えています。 機器表・金抜き設計書の通り計上すると考えて宜しいでしょ うか。	ACP-S-2-1-1 冷房能力63kW/暖房能力69kW (冷房消費電力21.8kW、暖房消費電力25.7kW)、 ACP-S-2-1-1-4 冷房能力3.6kW/暖房能力 4.0kW×4台、ACP-S-2-1-1-7 冷房能力3.6kW/ 暖房能力4.0kW×2台に訂正します。 また、冷房能力67kW 冷暖切替寒冷地仕様の冷 房消費電力を23.0kWに訂正します。
236	AC-B-103 ACP-S-2-1-2に寒冷地仕様と記載がありますが、記載の冷暖房能力を満足する機器がありません。寒冷地仕様ではなく標準仕様と考えて宜しいでしょうか。	ACP-S-2-1-2の冷房能力56kW/暖房能力63kW、ACP-S-2-1-2-1の冷房能力4.5kW/暖房能力5.0KWに訂正します。また、ACP-S-2-3を冷房能力56kW/暖房能力63kWに訂正します。 消費電力等仕様は、同能力の欄をご参照ください。
237	AC-B-105 ACP-S-3-4に於いて、室外機を2台、室内機を4台設置する ように記載がありますが、機器能力から室内・外機1対1の機 器と思われますが、室外機2台、室内機2台と考えて宜しいで しょうか。	ACP-S-3-4-1(室内機)の台数4台→2台に訂正 します。
238	AC-C-043 チャンバーリストに全熱交換器付空調機のOAチャンバー及 びEAチャンバーの記載がありません。リストへ記載のない チャンバーの設置は不要と考えて宜しいでしょうか。	リストを修正します。 (1002-3質疑238-追加資料参照)

No.	質問	回 答
239	AC-D-011 クエンチ配管について使用する管材の記載がありません。金 抜き設計書に従いステンレス鋼板製スパイラルダクトを使用 すると考えて宜しいでしょうか。	配管用ステンレス鋼管(Sch40)とします。
240	AC-D-211 13階の排煙ダクトが記載されていません。御提示下さい。	修正図を添付します。 (1002-3質疑240-追加資料参照)
241	AC-E-101 支援棟2階空調機械室詳細図に於いて、全熱交換器ユニット のEAダクトにブースターファンを設置する記載があります が、機器番号は機械室換気用排風機と思われます。ブース ターファンの設置は無しと考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
242	AC-F-003、018 系統図及び配管図で返油管を6階天井内で配管し、オイルタンクに返すように記載されていますが、発電機設備で返油ポンプを設置すると考えて宜しいでしょうか。5階のICU通路内天井を配管する場合は配管図を御提示下さい。	空調設備で返油ポンプを設置します。 オイルギアポンプ ϕ 15 × 9L/min × 12m × 0.75kW 付属品 安全増防爆形電動機、メカニカルシー ル、標準付属品一式
243	AC-F-011 オイルタンクの通気管を外壁際に立ち上げるように記載があ りますが、免震継手の記載がありません。 GL+4000まで架台で立上げと考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
244	AC-F-019 DS-PS6内で80Aの2K蒸気の立下げが記載されていますが、 G-202.HSS-H-2蒸気ヘッダーの取り出し管に80Aの分岐は ありません。取出し位置について御指示下さい。	修正図を添付します。 (1002-1質疑42-追加資料参照)
245	AC-F-027 AHP-1冷温水管に流量計を取付するように記載がありますが、計装図、中央管理点入出カー覧に記載がありません。 流量計の取付は無しと考えて宜しいでしょうか。	流量計を取り付けるものとし、流量計及び管理点数を見込んでください。
246	AC-F-035 PS2のドレン主管100AにCトラップを取付するように記載がありますが、100AのCトラップ取扱いメーカーについて御指示下さい。	各分岐管へ50A以下のCトラップを取り付けるものとし、ドレン主管への取り付けはとりやめます。
247	AC-G-202 蒸気管に流量計を取付するように記載がありますが、計装 図、中央管理点入出カー覧に記載がありません。流量計の 取付は無しと考えて宜しいでしょうか。	流量計を取り付けるものとし、流量計及び管理点 数を見込んでください。
248	AC-G-202 蒸気管に安全弁を取付するように記載がありますが、逃し管 の記載がありません。放出先が不明ですので逃し管を記載 した図面を御提示下さい。	修正図を添付します。 (1002-1質疑44追加資料参照)
249	AC-G-202 バルブリストに於いて、蒸気ヘッダーに水抜き管と仕切弁を 取付するように記載がありますが、蒸気トラップや還水管の 記載がありません。配管図通りに見積計上しても宜しいで しょうか。	蒸気トラップ、還水配管を見込んでください。
250	AC-G-202 温水発生器からヘッダーを経て貯湯槽へ温水を供給していますが、温水発生器の温度条件が60~75℃となっています。貯湯槽は温水温度80℃となっていますが、設計図通りの機器使用で見積計上と考えて宜しいでしょうか。	貯湯槽は65℃使用で、温水入口温度を75℃に訂正します。その他仕様は機器表の通りとします。
251	AC-H-019〜045 計装図に於いて、全熱交換器付外調機のEAダクトへMDを 取付するように記載されていますが、ダクト図やエアバランス 表に記載がありません。取付は無いと考えて宜しいでしょう か。	全熱交換器付き外調機のOA、EAダクトともにMD を設置するものとします。

No.	質問	回 答
252	AC-H-031 空調機制御(13)の計装図に於いて、OHU-H-5-1とH-5-2の SA側に故障時閉のMDを取付するように記載がありますが、 ダクト図に記載がありません。取付は無いと考えて宜しいで しょうか。	OHU-H-5-1とH-5-2のSA側に、故障時閉のMD を取付するものとします。
253	AC-H-038 空調機制御(20)の計装図に於いて、OHU-H-6-1がダブルコイルの制御図で記載されています。機器表・配管図では冷温水コイルとなっていますが、冷温水コイルの制御を行うと考えて宜しいでしょうか。	外気処理空調機のコイルを、ダブルコイルに訂 正します。
254	AC-H-052 冷却塔補給水槽廻りの制御図において水槽への補給水管にFM弁及び電磁弁を取付けるように記載がありますが、配管図に記載がありません。FM弁の取付は無いと考えて宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
255	AC-H-052 冷却塔補給水槽廻りの制御図に於いて、水槽への補給水管 にパルスメーターを取付するように記載がありますが、配管 図・中央管理点入出カー覧表に記載がありません。パルス メーターの取付は無いと考えて宜しいでしょうか。	パルスメータを取付けるものとし、パルスメーター 及び管理点数を見込んでください。
256	AC-H-052 支援棟の加湿給水用ポンプユニットの水槽に於いて、補給 水管にFM弁及び電磁弁を取付するように記載があります が、配管図に記載がありません。FM弁の取付は無いと考え て宜しいでしょうか。	左記の通りでよろしいです。
257	PL-C-005 配置図へ【おのぶの井戸復元工事】と記載がありますが、詳 細が不明です。金抜き設計書の通り計上として宜しいでしょ うか。	既設おのぶの井戸はPL-C-005の◇7付近にあり、新設後も同井戸を利用します。 撤去範囲は復元部分である、ポンプ(ボックス 共)・ポリタンク・ボールタップ・湧水樋で、◇7の 近傍擁壁上部にあります(おのぶの井戸復元工 事の断面図参照) 新設する復元部分は、□3-3付近です。
258	PL-D-003 廃棄物室、濾過機械室等の給水管に免震継手の先に水栓 を取付けるように記載されていますが、器具表にありませ ん。取付は無いと考えて宜しいでしょうか。また、取付する場 合は参考型番を御指示下さい。	図面番号PL-B-201に記載のT-6 ホーム水栓を 設置します。
259	PL-H-004 槽内平面図に手洗器を取付するように記載がありますが、 器具表に記載がありません。取付は無いと考えて宜しいで しょうか。また、取付する場合は参考型番を御指示下さい。	マルチシンクを設置します。 参考型式 マルチシンク SK510D、単水栓 T136AUN13CR
260	PL-M-002、003、005 厨房機器リストに於いて、シンク等に給水・給湯を供給する ように記載がありますが、器具表に厨房器具用の水栓があ りません。厨房用の水栓について、参考型番と数量を御指 示下さい。	下記の通りとします。 医療棟 参考型式 TKGG33EC×16個 医療支援棟 参考型式 TKGG33EC×6個、TL155AFR×1個 また、医療棟、医療支援棟とも、厨房内設置の手 洗いには、手洗い下部給水配管分岐にて、T-6 ホーム水栓を設置するものとします。

チャンバーリスト-1 (外気処理空調機)

					サイズ			内	 貼			
階	系統名	種別	 L		W			50t	25t	点検口	個数	備考
2	OHU-H-1-1											欠番
	OHU-H-2-3	SOA	2,200	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-2-3	RA	2,200	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-2-3	ОА	1,000	×	800	×	1,000				1	
	OHU-H-2-3	EA	900	×	600	×	600				1	
	OHU-H-2-4											欠番
	OHU-H-2 • 3-1	SOA	2,200	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-2 • 3-1	RA	2,200	×	1,200	×	1,000		0		1	
	OHU-H-2 • 3-1	ОА	1,100	×	 750	×	 750				1	
	OHU-H-2 • 3-1	EA	750	×	850	×	750				1	
	OHU-H-2 • 3-2	SOA	2,000	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-2 • 3-2	RA	2,000	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-H-2 • 3-2	ОА	1,000	×	700	×	700				1	
	OHU-H-2 · 3-2	EA	600	×	1,000	×	600				1	
3	OHU-H-2-5	SOA	1,700	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-2-5	RA	1,700	×	1,200	×	1,000		0		1	
3	OHU-H-2-5	ОА	950	×	600	×	950				1	
3	OHU-H-2-5	EA	600	×	650	×	600				1	
3	OHU-H-3-3	SOA	800	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-H-3-3	ОА	800	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-H-3-5	SOA	800	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-H-3-5	ОА	800	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-H-3-6	SOA	900	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-H-3-6	RA	900	×	1,200	×	1,000		0		1	
3	OHU-H-3-6	ОА	600	×	500	×	600	\circ			1	
3	OHU-H-3-6	EA	500	×	600	×	600		0		1	
3	OHU-H-4-1	SOA	1,900	×	1,200	×	1,000	0			1	
3	OHU-H-4-1	RA	1,900	×	1,200	×	1,000		0		1	
3	OHU-H-4-1	ОА	1,000	×	600	×	600	\circ			1	
3	OHU-H-4-1	EA	800	×	600	×	600		0		1	
4	OHU-H-3-4	SOA	1,900	×	1,200	×	1,000	0			1	
4	OHU-H-3-4	RA	1,900	×	1,200	×	1,000		0		1	
4	OHU-H-3-4	ОА	750	×	700	×	700	0			1	
4	OHU-H-3-4	EA	600	×	800	×	600		0		1	
4	OHU-H-4-2	SOA	1,000	×	1,200	×	1,000	0			1	
4	OHU-H-4-2	ОА	1,000	×	1,200	×	1,000	\circ			1	
4	OHU-H-4-3	SOA	900	×	1,100	×	1,000	\circ			1	
4	OHU-H-4-3	RA	900	×	1,100	×	1,000		0		1	
4	OHU-H-4-3	ОА	500	×	500	×	500	\circ			1	
4	OHU-H-4-3	EA	450	×	450	×	450		0		1	
4	OHU-H-4-4	SOA	1,200	×	1,200	×	1,000	0			1	
4	OHU-H-4-4	RA	1,200	×	1,200	×	1,000		0		1	
4	OHU-H-4-4	ОА	600	×	650	×	600	0			1	
4	OHU-H-4-4	EA	550	×	650	×	550		0		1	

		1 1			サイズ			一人	 貼			
階	系統名	種別	L		W			50t	25t	点検口	個数	備考
4	OHU-H-4-5	SOA	900	×	1,200	×	1,000	0			1	
4	OHU-H-4-5	ОА	900	×	1,200	×	1,000				1	
4	OHU-H-4-6	SOA	1,500	×	1,200	×	1,000				1	
4	OHU-H-4-6	OA	1,500	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-3	SOA	800	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-3	OA	800	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-4	SOA	1,100	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-4	RA	1,100	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-4	OA	750	×	500	×	750				1	
5	OHU-H-5-4	EΑ	500	×	550	×	500				1	
5	OHU-H-5-5	SOA	1,200	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-5	RA	1,200	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-5	OA	600	×	600	×	600				1	
5	OHU-H-5-5	EΑ	600	×	550	×	550				1	
5	OHU-H-5-6	SOA	1,300	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-6	OA	1,300	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-7	SOA	700	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-7	OA	700	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-5-8	SOA	800	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-5-8	OA	800	×	1,200	×	1,000				1	
5	OHU-H-6-1	SOA	600	×	1,000	×	1,000				1	
5	OHU-H-6-1	OA	600	×	1,000	×	1,000				1	
	OHU-H-5-1											
6	OHU-H-5-1	SOA	1,700	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-5-1	RA	1,700	×	1,200	×	1,000		0		1	
6		OΑ	700	×	800	×	800				1	
6	OHU-H-5-1	EA	800	×	700	×	800		0		1	
6	OHU-H-5-2	SOA	1,700	×	1,200	×	1,000	0			1	
6	OHU-H-5-2	RA	1,700	×	1,200	×	1,000				1	
6	OHU-H-5-2	OA	700	×	800	×	700	0			1	
6	OHU-H-5-2	EA	700	×	800	×	700		0		1	
6	OHU-H-6-2	SOA	1,200	×	1,200	×	1,000	0			1	
6	OHU-H-6-2	RA	1,200	×	1,200	×	1,000		0		1	
6	OHU-H-6-2	OA	650	×	600	×	600	0			1	
6	OHU-H-6-2	EA	600	×	650	×	600		0		1	
	OHU-H-E-1	SOA	3,900	×	1,200	×	1,000	0			1	
	OHU-H-E-1	RA	3,900	×	1,200	×	1,000				1	
	OHU-H-E-1	OA	1,250	×	1,250	×	1,250				1	
	OHU-H-E-1	EA	1,000	×	1,000	×	1,000		0		1	
	OHU-H-W-1	SOA	3,500	×	1,200	×	1,000	0			1	
	OHU-H-W-1	RA	3,500	×	1,200	×	1,000		0		1	
	OHU-H-W-1	OA	1,200	×	1,200	×	1,200	0			1	
	OHU-H-W-1	EA	1,000	×	1,000	×	1,000		0		1	
	OHU-H-W-2	SOA	600	×	1,000	×	1,000	0			1	
	OHU-H-W-2	ОА	600	×	1,000	×	1,000	0			1	
	OHU-H-W-3	SOA	1,200	×	1,200	×	1,000	0			1	
PH	OHU-H-W-3	ОА	1,200	×	1,200	×	1,000				1	

注記) 1.外調機・空調機のSOA、SA内貼は、パンチング板押さえとする。 2.PAC・FCUの内貼は、ガラスクロス押さえとする。

追記	îie ·	久米・村田設	:計共同企業体	^{日付} 令和元年8月20日	設備関係規定に適合することを確認した者:	株式会社 久米設計	作名 古女似口炒 A.完院或 完院才表现工事	設計番号
	•			—— PA 小倉 基延 模図 油谷 康史	設備設計一級建築士 建築士証交付番号 第2384号 土岐 昇三	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	市立秋田総合病院新病院建設工事	0180038
		KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	担当 土岐 昇三 本間 美鈴		有限会社 村田弘建築設計事務所	図面名 綿尺 人工 フリーコー 1 人匠 (味) オー	NS ACCOAS
	•	SEKKEI WARAN > VILLE		新井 啓太郎		一級建築士 登録番号 320305号 村田 良太		NS AC-C-043

チャンバーリスト-1 (外気処理空調機、ヒートポンプエア

17EF.	エッ ケ ク	4手口!!			サイズ			内	 貼	-E +-> -	/III */-	/# **
階	系統名	種別	L		W		Н	50t	25t	点検口	個数	備考
	<医療支援棟>											
2	OHU-S-1-1											欠番
2	OHU-S-2-2	SOA	1,100	×	1,200	×	1,000				1	
2	OHU-S-2-2	RA	1,100	×	1,200	×	1,000		0		1	
2	OHU-S-2-2	ОА	500	×	600	×	500				1	
2	OHU-S-2-2	EA	500	×	600	×	500		0		1	
2	OHU-S-2-3	SOA	900	×	1,200	×	1,000				1	
2	OHU-S-2-3	ОА	900	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-S-2-1											欠番
3	OHU-S-3-1	SOA	2,200	×	1,200	×	1,000				1	
3	OHU-S-3-1	RA	2,200	×	1,200	×	1,000		0		1	
3	OHU-S-3-1	ОА	950	×	900	×	900				1	
3	OHU-S-3-1	EA	950	×	800	×	800		0		1	
4	OHU-S-4-1	SOA	1,900	×	1,200	×	1,000				1	
4	OHU-S-4-1	RA	1,900	×	1,200	×	1,000		0		1	
4	OHU-S-4-1	ОА	900	×	700	×	700				1	
4	OHU-S-4-1	EA	700	×	800	×	700		0		1	
1	ACP-S-1-1-1	SA	600	×	400	×	400		0		1	
1	ACP-S-1-1-1	RA	600	×	400	×	400		0		1	
1	ACP-S-1-1-2	SA	600	×	400	×	400		0		1	
1	ACP-S-1-1-2	RA	600	×	400	×	400		0		1	
2	ACP-S-2-1-1-1	SA	1,000	×	400	×	400		0		2	
2	ACP-S-2-1-1-1	RA	1,000	×	400	×	400		0		2	
2	ACP-S-2-5-1	ОА	800	×	500	×	500		0		1	別途工事
2	ACP-S-2-5-1	SOA	800	×	500	×	500		0		1	別途工事
3	ACP-S-3-3-1	SA	1,400	×	500	×	500		0		6	
3	ACP-S-3-3-1	RA	1,400	×	500	×	500		0		6	

ガラリチャンバーリスト-1

階	系統名	種別			サイズ			内	貼	風量	個数	備考	
			W		Н		D	50t	25t			νπ ·	
	<医療支援棟>												
2	OAG-S-2-1	OAG	4,000	×	4,200	×	800			8,950	1	リセス開口(建築)	
3	OAG-S-3-1	OAG	4,000	×	4,200	×	800			14,800	1	リセス開口(建築)	
4	OAG-S-4-1	OAG	4,000	×	4,200	×	800			8,750	1	リセス開口(建築)	
1	EAG-S-1-1	EAG	1,000	×	100	×	350			300	1		
2	EAG-S-2-1	EAG	4,000	×	4,200	×	800			6,180	1	リセス開口(建築)	
3	EAG-S-3-1	EAG	4,000	×	4,200	×	800			13,300	1	リセス開口(建築)	
4	EAG-S-4-1	EAG	4,000	×	4,200	×	800			10,450	1	リセス開口(建築)	

注記) 1.外調機・空調機のSOA、SA内貼は、パンチング板押さえとする。 2.PAC・FCUの内貼は、ガラスクロス押さえとする。

				吹出	10					吸证	∑ □			
階	室名	系統名	総風量 [m3/h]	形式	サイズ	風量 [m3/h]	個数 [個]	系統名	総風量 [m3/h]	形式	サイズ	風量 [m3/h]	個数 [個]	備考
1	風除室1	ACP-S-1-1-1	540	BL-D	2000L	540	1	ACP-S-1-1-1	540	CL-#4	1500L	540	1	
1	風除室2	ACP-S-1-1-2	540	BL-D	2000L	540	1	ACP-S-1-1-2	540	CL-#4	1500L	540	1	
2	風除室4	ACP-S-2-1-1	2,340	BL-D	4000L	1,170	2	ACP-S-2-1-1	2,340	CL-#4	3000L	1,170	2	
3	サーバ一室	ACP-S-3-3-1	10,440	VHS	750 × 750	3,480	3	ACP-S-3-3-1	10,440	VS	750 × 750	3,480	3	

フードリスト-

				フ	ードサイ	ヹ					接続夕	· クト	サイズ	
階	室名	系統(器具名称)	W		D			風量	GF	個数	W		Н	備考
	<医療支援棟	<u> </u> 												
2	厨房	コンビオーブン	900	×	900	×	1,200	900		1	250	×	250	SUS鋼板製
2	厨房	ガス炊飯器												
2	厨房	ガステーブル	1,500	×	1,650	×	900	2,700	0	1	400	×	300	SUS鋼板製
2	厨房	ガスフライヤー												
2	厨房	電気ゆで麺器	2,100	×	750	×	900	1,700	0	1	350	×	300	SUS鋼板製
2	厨房	IHローレンジ												
2	厨房	ドアタイプ洗浄機	1,000	×	900	×	300	1,000		1	300	×	300	SUS鋼板製
		l	l							<u> </u>				

制気口選定条件

可以口齿足不口			
型式	選定条件等	BOX寸法	
VHS, VS	有効開口面風速 居室 2m/s 非居室 3m/s、有効開口率70%	$(W+200) \times (W+200) \times 400H$	※SUS製ダクトおよび塩ビライニングダクト
アネモE2	#15:~205m3/h #20:~355m3/h	450 × 450 × 400H	への接続BOXはダクト材質と同じにする。
	#25:~550m3/h	500 × 500 × 400H	※SA、RA、OAは内貼有とする。
BL-S	L=1000mm :150m3/h	$300 \times (L + 200) \times 400H$	※内貼はグラスウール25tとする。
BL-D	L=1000mm : 300m3/h	$300 \times (L+200) \times 400H$	

· 追記	訂正・		 計共同企業体	日前 令和元年8月20日	設備関係規定に適合することを確認した者:	株式会社 久米設計	作名	設計番号
	<u>.</u>	-		PA 小倉 基延 模図油谷 康史	設備設計一級建築士 建築士証交付番号 第2384号 土岐 昇三	一級建築士 登録番号 266585号 高橋 創	市立秋田総合病院新病院建設工事	0180038
	•	KUME 株式会社 久米設計	有限会社村田弘建築設計事務所	担当 土岐 昇三 本間 美鈴		有限会社 村田弘建築設計事務所	図面名 総尺 A 1 = 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・	図面番号 NS A C _ C _ 1 O G
		SEKKEI 体式云征 /\/\ CX CI		新井 啓太郎		一級建築十 登録番号 320305号 村田 良太		NS AC-C-106

